

あいっこ「親の学び」 学習プログラム

<令和3年度 追加版>

Ⅱ-7 幼児期（3～5歳）の子供の保護者を対象

子供と約束事は決めていますか？

お子さんにスマートフォンやタブレット等を使わせていますか。また、使わせようとしていますか。子供にスマートフォンやタブレットを使わせる際の約束事について考えてみませんか？



II-7

子供と約束事は決めていますか？

<エピソード>

「いやだ、いやだ。」

大きな声にお父さんとお母さんはびっくりしました。

お母さんの病院の診察に同行した年長児のはるとくんとお父さん。お母さんの診察までの待ち時間に、両親は、いつものように、はるとくんにスマートフォンを渡して大好きなアニメの動画を見させていました。そして、お母さんの診察の順番が来たので返してもらおうと声をかけました。しかし、いつもはすぐに返してくれるはるとくんの反応がなかったので、お父さんは少し強引に取り上げようとしてしまいました。すると、はるとくんはこれまで聞いたことがない大きな声で、泣きながら嫌がりました。



両親は、はるとくんと約束事を決めた方がよいのか不安になりました。

Work①

大きな声で泣きながら嫌がったとき、はるとくんはどんな気持ちだったと思いますか。

Work②

あなたなら、両親の不安に対してどのようなアドバイスをしますか。

Work③

あなたの家庭では、子供にスマートフォンやタブレットを使わせていますか。使わせている場合、使わせ始める時に約束事を決めましたか。決めている場合、どのような約束事ですか。

資料

【資料1】子供にスマホやタブレットネットを使用させるにあたり、
どのようなことに不安を感じていますか？

- | | |
|---------------|------------------------|
| ① ネット依存 | ② 対面コミュニケーションへの影響 |
| ③ 学習・成績への影響 | ④ 身体（目、姿勢、ほか）や健康への影響 |
| ⑤ ネットいじめ被害／加害 | ⑥ 個人情報の漏えい |
| ⑦ 誘い出しや性的被害 | ⑧ 課金 |
| ⑨ 不適切な情報発信 | ⑩ 不適切な情報に触れること、およびその影響 |

（出典） 考えよう！子育てと子供の成長とデジタル機器
～「与え方の工夫」や「心がけたいこと」を知りたいみなさまへ～
（安心ネットづくり促進協議会作成リーフレットより）

<資料2 中高校生のネット依存>

	2012年度	2017年度
中学生	6.0%	12.4%
高校生	9.4%	16.0%
	約51万人	約93万人

（出典）厚生労働省研究班による調査結果より作成

「ネット依存」とは

「インターネットに夢中になっていると感じるか」「ネットの使用をやめようとした時、落ち込みやイライラなどを感じるか」「嫌な気持ちや不安、落ち込みから逃げるためにネットを使うか」など8つの質問のうち、「はい」が5項目以上ある場合、「病的な使用」と判定しネット依存が強く疑われます。

（出典）厚生労働省研究班による調査結果より

<資料3 ゲーム障害が国際的に疾病の一つとして正式認定>

「ゲーム障害」とは、ゲームをする時間をコントロールできない、他の生活上の関心事や日常の活動よりゲームを優先するといった症状が1年以上継続することを言います。（症状が重い場合は1年以内でも該当するとされています。）2019年5月、世界保健機関（WHO）が新たな死因や疾病の一つとして認定しました。

（出典）国際疾病分類の第11回改訂版（ICD-11）より（2019年5月 国際保健機関：WHO）

コラム

「GIGA^(※)スクール構想」により、小中学校で一人一台のタブレット等の端末が配備され、子供たちがタブレット等のデジタル端末を使う学習が進められています。

デジタル端末の活用には、「視力や脳への悪影響が出る」「依存につながる」「コミュニケーションが不足する」「SNS等のトラブルに巻き込まれる」などの心配の声が多く聞かれます。

一方で、子供たちの興味や関心を高めたり、学習の内容や効果を広げたりする便利なツールにもなります。例えば、次のようなことが考えられます。

- ・画像や映像、音声で直感的に感じるができる。
- ・遠くに離れた人とコミュニケーションを図ることができる。
- ・自分の興味や関心に応じた情報を主体的に集めることができる。



大切なのは、与える（使わせる）立場の私たち大人が、子供たちがデジタル端末を使うことのメリットとデメリットを正しく理解し、ルール作りも含めた使い方（使わせ方）を考えることではないでしょうか。

※GIGA=Global and Innovation Gateway for All（文部科学省による）

Ⅱ-7

子供と約束事は決めていますか？

【プログラムのねらい】

- 幼児期にスマートフォンやタブレットを使わせる際の約束事について考える。
- 子供の発達段階や家庭環境に応じた約束事について考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶アイスブレーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間で交流する遊びを行い、参加者のリラックスした雰囲気作りをする。 （4～5人のグループをつくる ※参加者の実態による） ・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。 	平成22年度版学習プログラムのP2「アイスブレーキング各種」参照
35分	<p>▶Work</p> <ol style="list-style-type: none"> ① エピソードを読み、はるとくんの気持ちを考え、グループで話し合う。 ② 両親の不安に対して、どのような声かけをするのか考え、グループで話し合う。 <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの行為を一方向的に否定する話し合いにならないようにしたい。 ・自分自身の経験も話せるようにしたい。 <ol style="list-style-type: none"> ③ 自分の子供へのスマートフォンやタブレットの使わせ方についてグループで話し合う。（まだ、使わせていない場合は、使わせることを想定して考えるようにする。） <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束事に加え、なぜ、そのような約束事にしているのかも話し合いたい。 ・資料を活用し、自身の子供が中学生や高校生になったときの姿をイメージさせたい。 	ワークシート 筆記用具
15分	<p>▶グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Work③で出された約束事について全体で発表・紹介する。 ・各自で自分が子供に対して生かせそうなこと、気づいたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	※ホワイトボードや大きな紙に、発表・紹介された内容を書き、共有してもよい。 振り返りシート